

4 水のあるくらしを守るために

⑥ 環境を守る取り組み



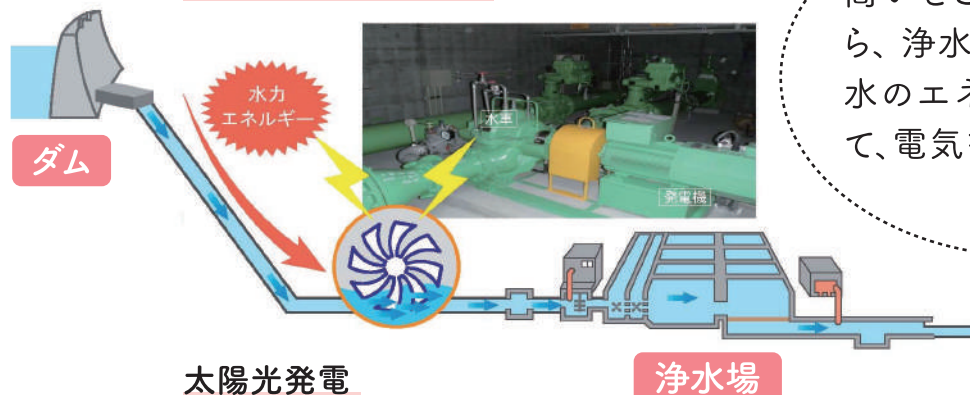
森林を守る他にどのようなことに取り組んでいるのかな。

再生可能エネルギーについて



再生可能エネルギーとは、風力、太陽光、小水力などのエネルギーのことです。地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を、ほとんど出さずに電気をつくることができます。水道局の浄水場などでは環境を守るために、太陽光や水力のエネルギーで電気をつくる機械を置いていて、みなさんの家の約660戸分の電気をつくることができます。

小水力発電の仕組み



高いところにあるダムから、浄水場まで流れ落ちる水のエネルギーを利用して、電気をつくるんだね。

自然を大切にしないといけないね。

浄水場の施設に太陽光パネルを置いて、太陽の光のエネルギーを電気に変えているんだよ。



(解説) ●660戸分の電気は、計画発電量の合計です。

⑦ 災害に備えて



毎日のくらしに欠かせない水。災害に備えた取り組みを見てみよう。

地震に強い水道管を使用



水道管の工事の様子

福岡市では、災害時に避難所となる小・中学校や救急病院などにつながっている水道管、古くなった水道管を地震に強い「耐震管」という水道管に取り替える取り組みを進めています。「耐震管」とは、管のつなぎ目が伸びたり縮んだりすることで地震が起きた場合でもこわれにくくなっている管のことです。



防災訓練と他の都市との助け合い

水はわたしたちの生活に欠かせないものです。福岡市で災害や事故により、水道が出なくなったときに備え、地域での防災訓練などを行っています。また、他の都市で災害が起きた時は、給水車で水を配るなど、おたがいに助け合うことにしています。



地域での防災訓練の様子

給水車は、水にこまっている地域に、飲み水や生活用水を運ぶことができます。



給水車

水のあるくらしを守るために他の都市とも助け合っているんだね。



災害が起きた都市で水を配る様子

(解説) ●福岡市では、いざという時に備えて、避難所や救急告示病院などの施設につながる配水管を優先的に耐震化する「耐震ネットワーク工事」を実施しています。